

学年

教科等

単元等

活用アプリ

小6

算数

分数の倍「基準量を求める」

オクリンクプラス

授業
内容

分数倍の意味について図や式を用いて考える

準備：

- ・共有コードを使用して、カード①②を取得する。
- ・全体共有用のみんなのボードを1つ用意する。
- ・準備したカードを子供たちのマイボードに送信する。

授業の流れ：

1. 各自、マイボードに送られたカード①を開く。テープ図でえん筆けずりとのはさみの値段を比較しながら、値段が960円のえん筆けずりが、はさみの $\frac{12}{7}$ 倍の値段であるときの、はさみの値段の求め方を考え、カード①に書く。
2. カード①をみんなのボードへ送り、全体でみんなのボードを見て、どのように考えたのか意見共有する。
3. マイボードのカード②（数直線が示してあるカード）を開き、各自、カード上の数直線と「はさみ」「えん筆けずり」の吹き出しを使って「はさみ」の値段の求め方を考える。「えん筆けずり」の値段960円が「はさみ」の値段の $\frac{12}{7}$ 倍としたときに、「はさみ」の値段をxとして式を表し、xにあてはまる数を求めてその答えを入力する。
4. 全体でどのように考えたのかを共有し、倍を表す数が分数のときも、もとにする大きさを求めるときは、xを使ってかけ算の式に表してから求められることを確認する。
5. カード②を提出BOXに提出する。

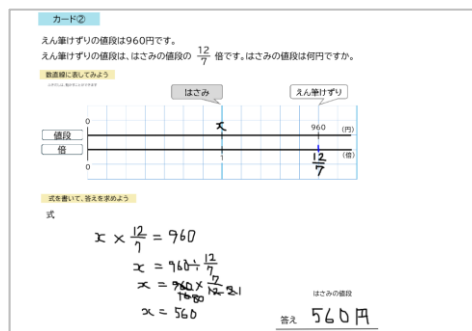
サポート
おすすめ
ポイント

- ・テープ図でそれぞれの値段を比較することで、分数の倍の大きさのイメージをつかむことができます。
- ・数直線上に倍を表したり、パーツを配置したりすることで、分かっている値段と、もとになる値段の関係を整理して考えることができます。

カード①：テープ図（入力例）



カード②：数直線（入力例）

イラスト出典：いらすとや <https://www.irasutoya.com/>

共有コード

共有コードを入力、または
カメラを起動して
二次元コードを読み込む

pb01KRWT7F8X78EJ9P4K8M21Y2JM